

A学区の特定健康診査結果分析と 生活習慣の特徴の把握(第1報)

静岡市 葵区役所健康支援課 北部保健福祉センター

◎小長井美由紀 石上博世 服部雅子

平井理香子 山本彩加 大西知美 大井由紀子

A学区



A学区

人口

1,287人

世帯数

480世帯

人口構成

年少人口

9.2%

生産年齢人口

55.3%

高齢者人口

35.5%

(H28.3.31現在)

目的

A学区住民の生活習慣病等の健康状態とそれに関連する生活習慣の特徴を明らかにし、今後の保健活動に活かす。

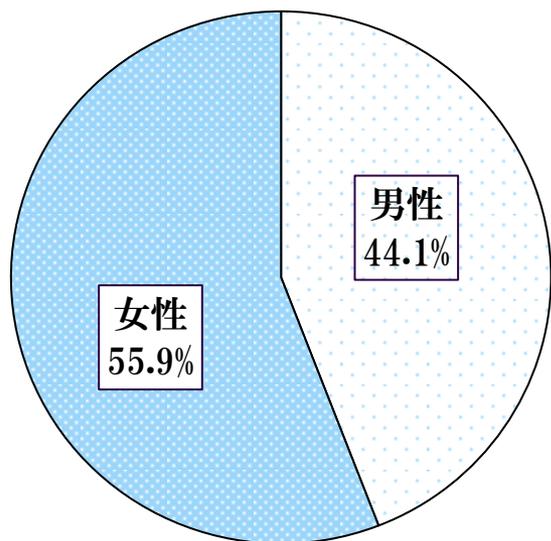
調査方法

- 1) 葵区住民13,305名とA学区住民102名の特定健診の問診内容と健診結果のデータを比較検討。
- 2) A学区住民122名の生活習慣等について静岡県民基礎調査1199名と比較検討。
(A学区の訪問でのアンケート調査は現在も継続中)
※検定には χ^2 検定とt検定を用いた。

結果

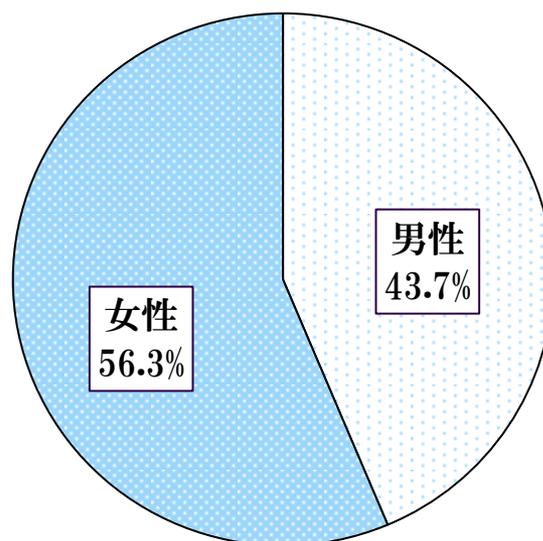
〈健診受診者 男女比・平均年齢の比較〉

・A学区



平均年齢：64.6歳

・葵区



平均年齢：65.0歳

表1 A学区と葵区の検査項目別平均値

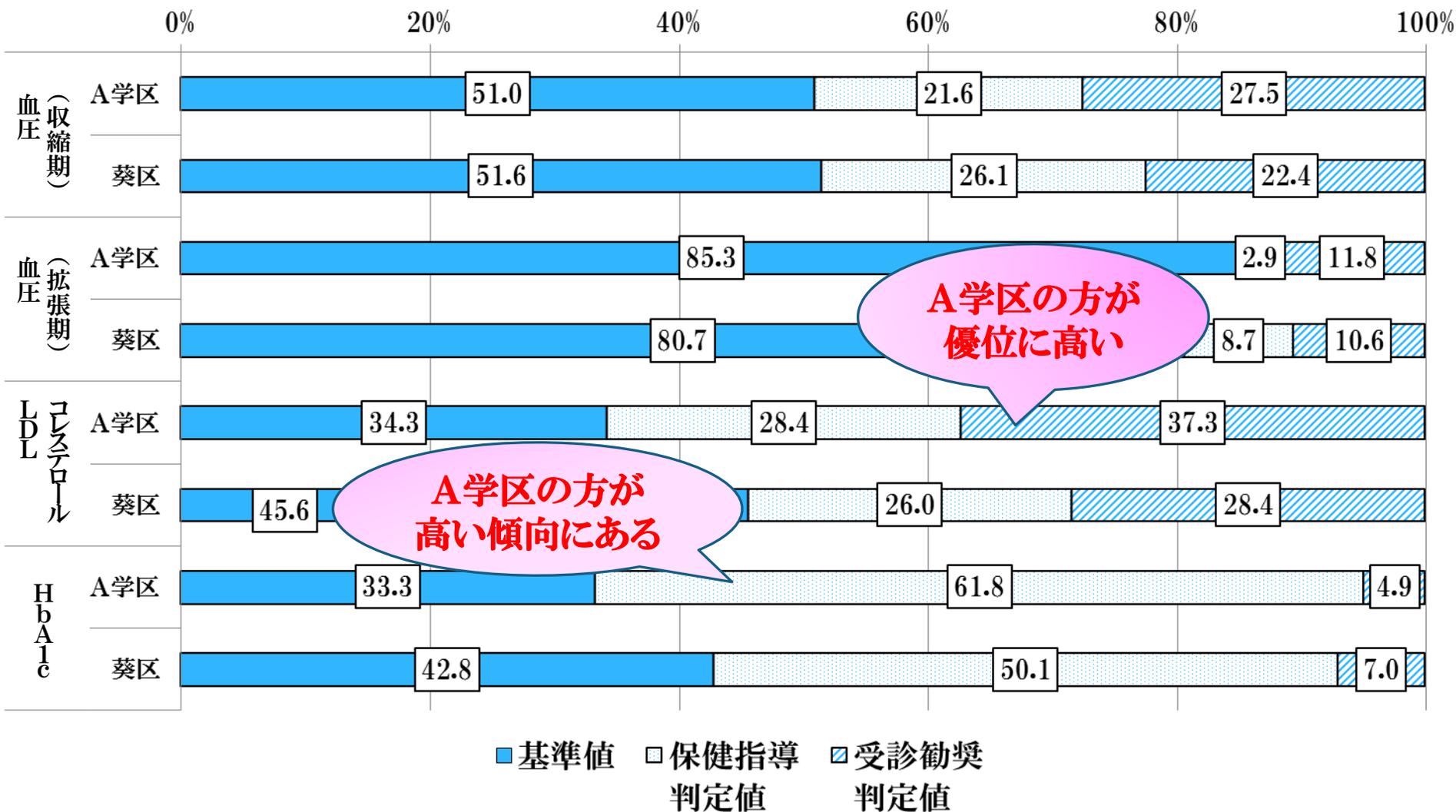
	A学区			葵区		
	度数	平均値	標準偏差	度数	平均値	標準偏差
BMI	102	22.7	3.45	13302	22.6	3.39
収縮期血圧	102	130.6	21.04	13296	128.5	16.86
拡張期血圧	102	75.8	10.92	13296	75.8	12.60
中性脂肪	102	107.5	50.28		112.1	77.34
HDL コレステロール	102	60.7	13.43	13305	64.2	17.30
LDL コレステロール	102	130.3	27.91		124.4	30.36
AST(GOT)	102	25.4	11.02	13303	24.6	13.11
ALT(GPT)	102	21.3	13.03		21.2	14.78
γ-GT (γ-GTP)	102	29.5	21.45		34.3	45.12
血清尿酸	102	5.3	1.47	13303	5.2	1.48
e-GFR	102	71.1	16.37	13300	70.3	13.66
HbA1c	102	5.8	0.49	13303	5.7	0.58

HDLが
有意に低い

LDLが
有意に高い

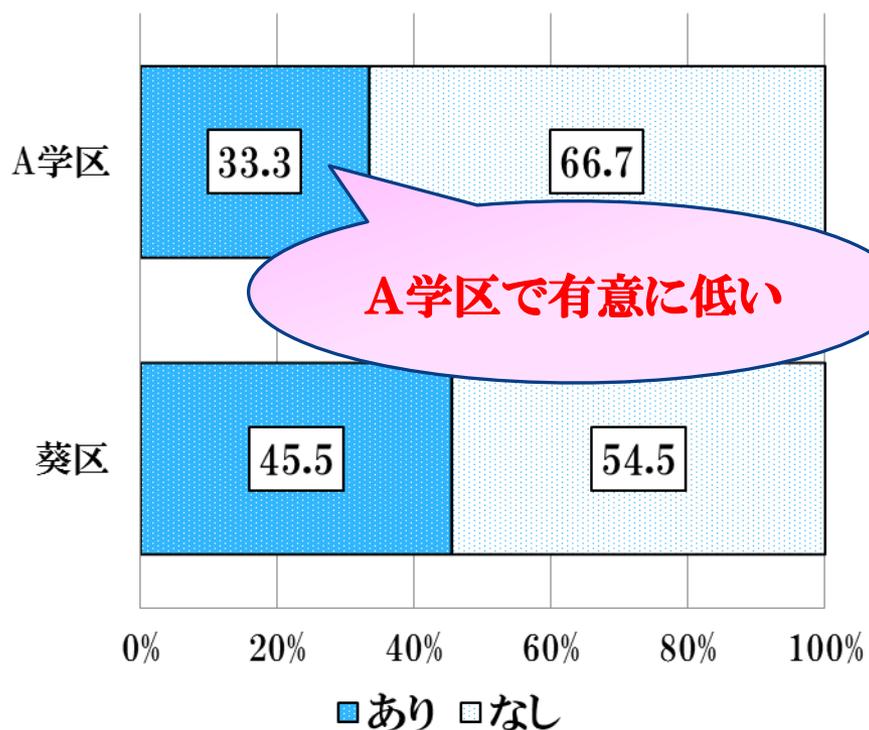
γ-GTPが
有意に低い

特定保健指導判定値

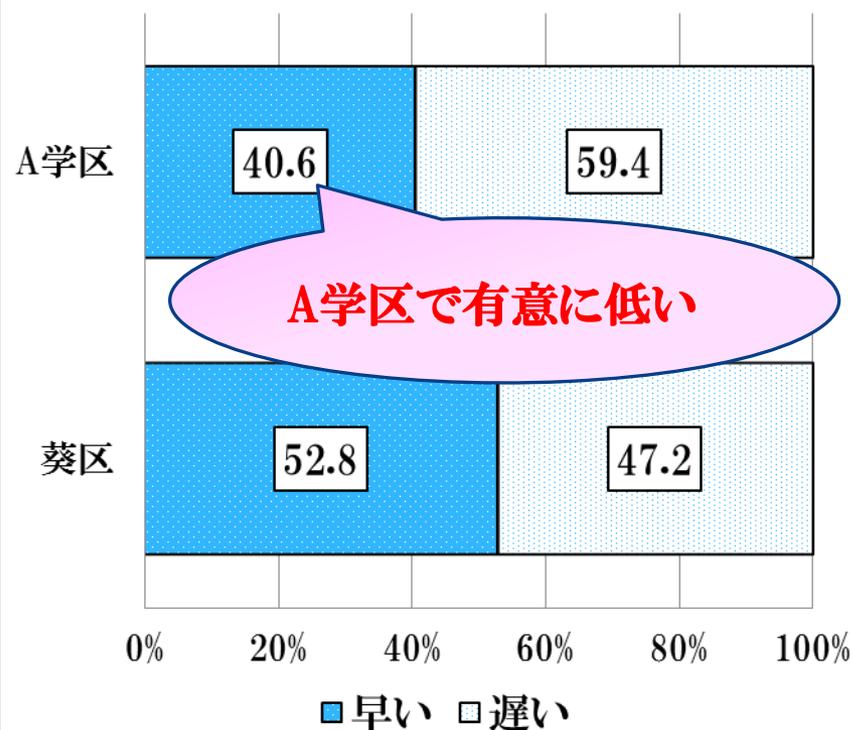


生活習慣等の状況

30分以上の運動習慣

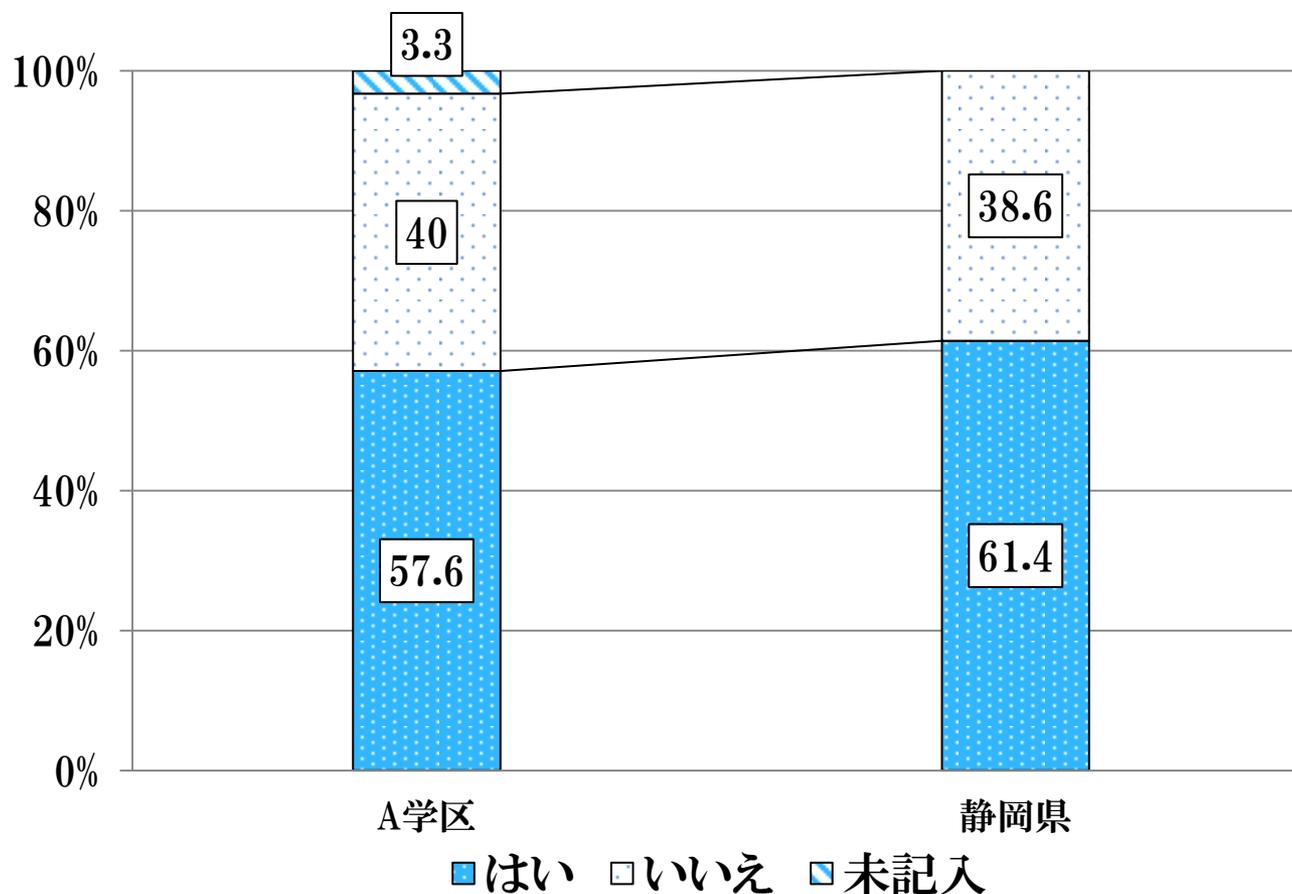


歩行速度

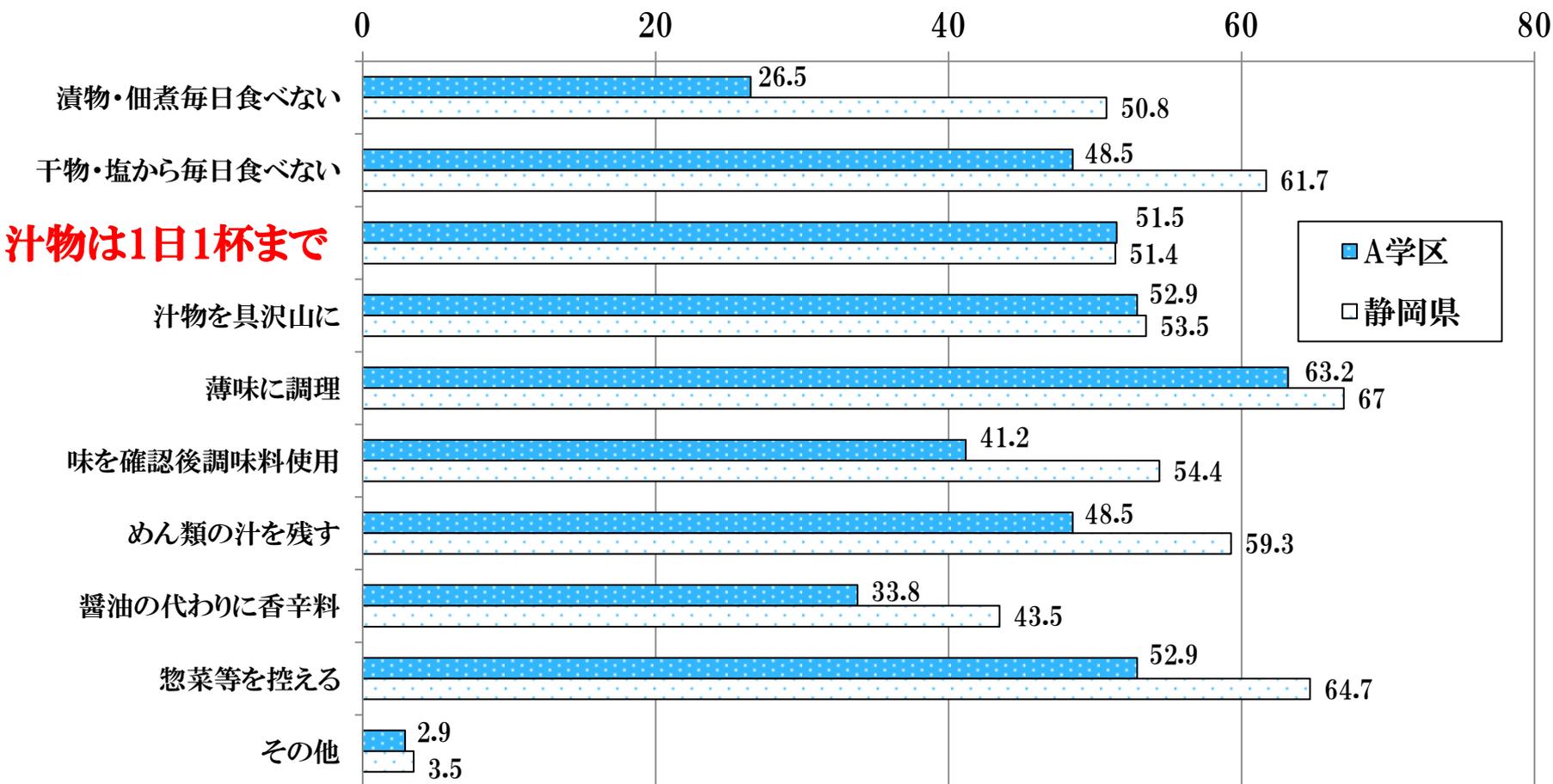


塩分摂取に関する意識

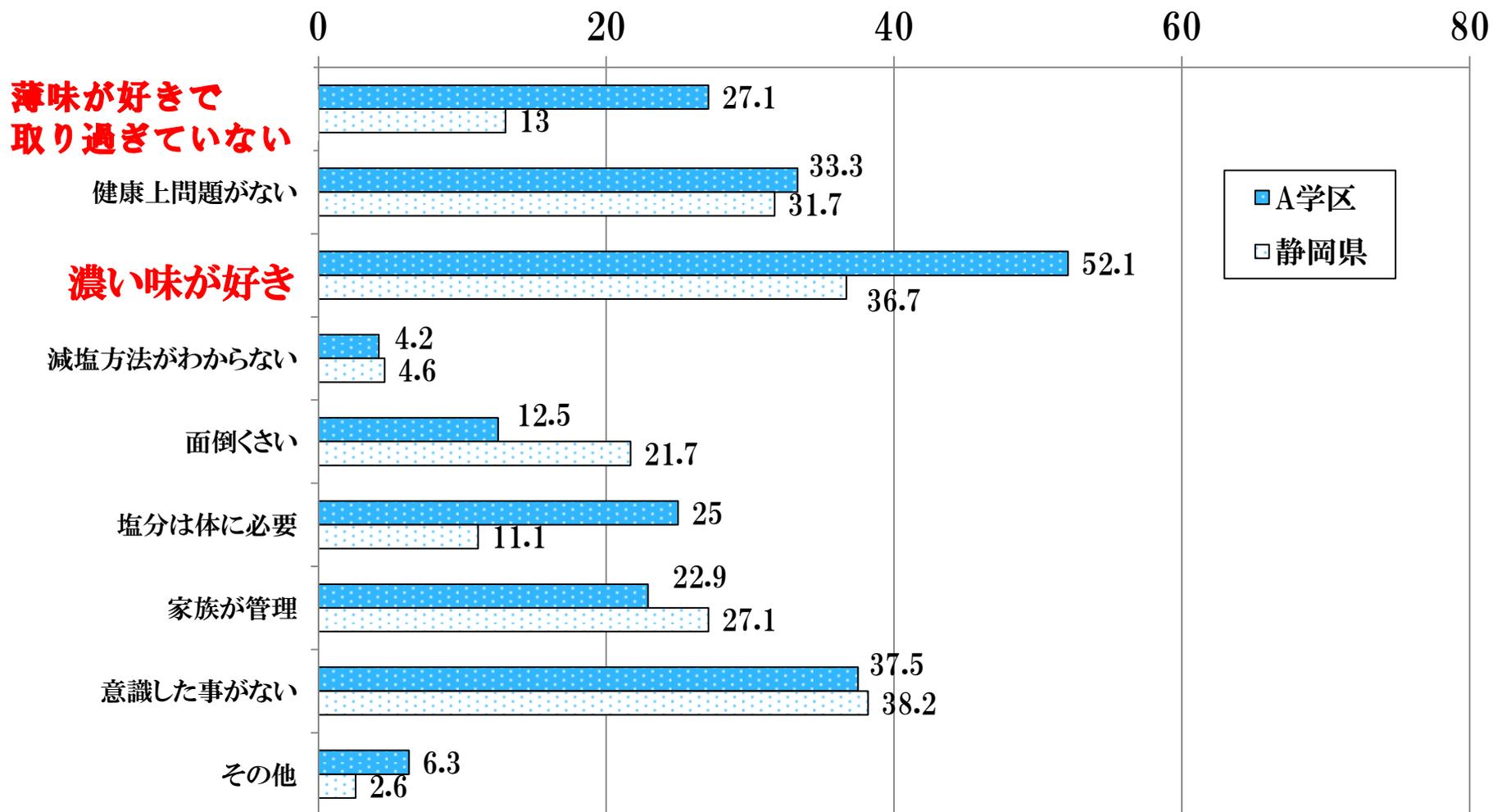
塩分の取りすぎに気を付けていますか？



塩分の取り過ぎに気を付けている内容



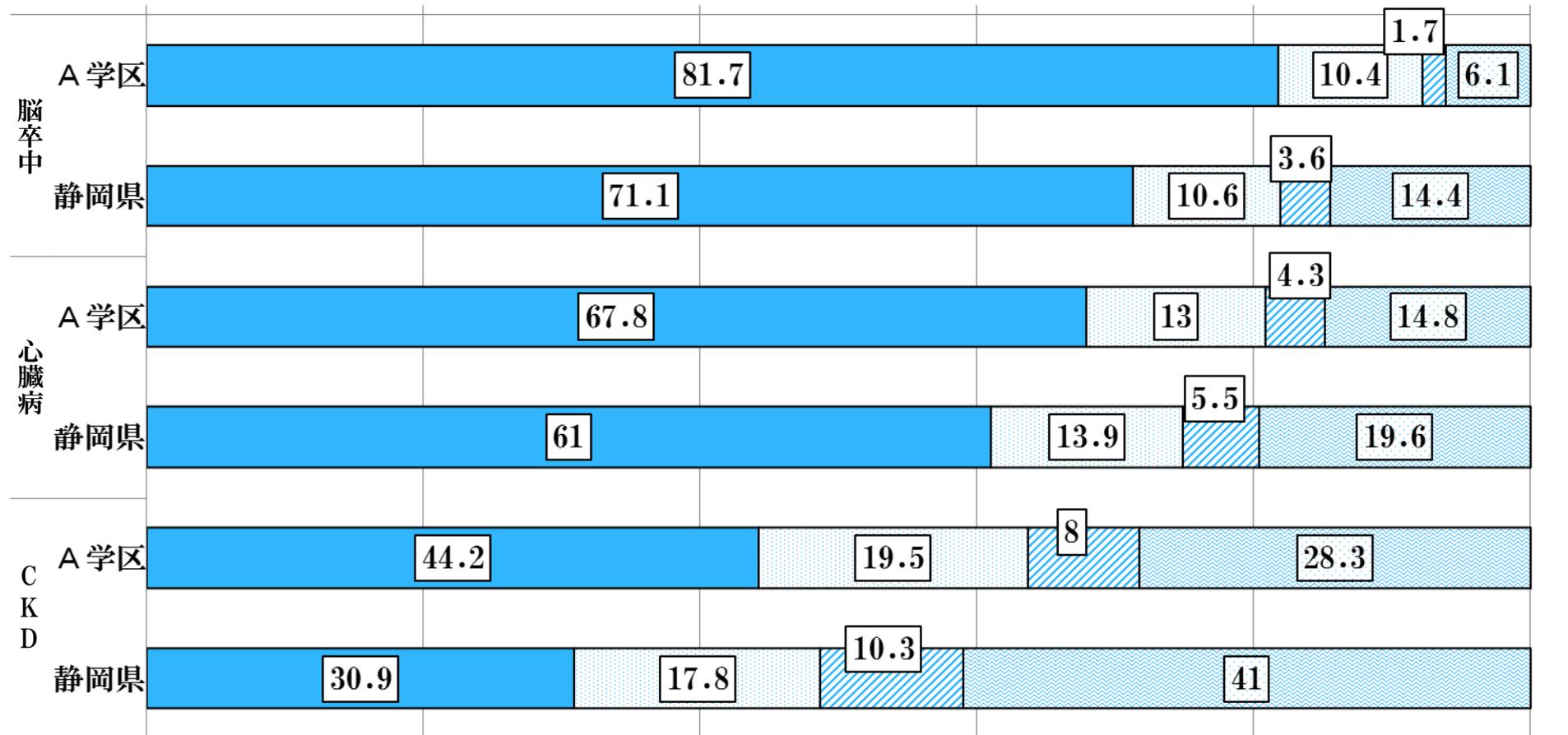
塩分の取り過ぎを気を付けていない理由



高血圧と重症化のリスク

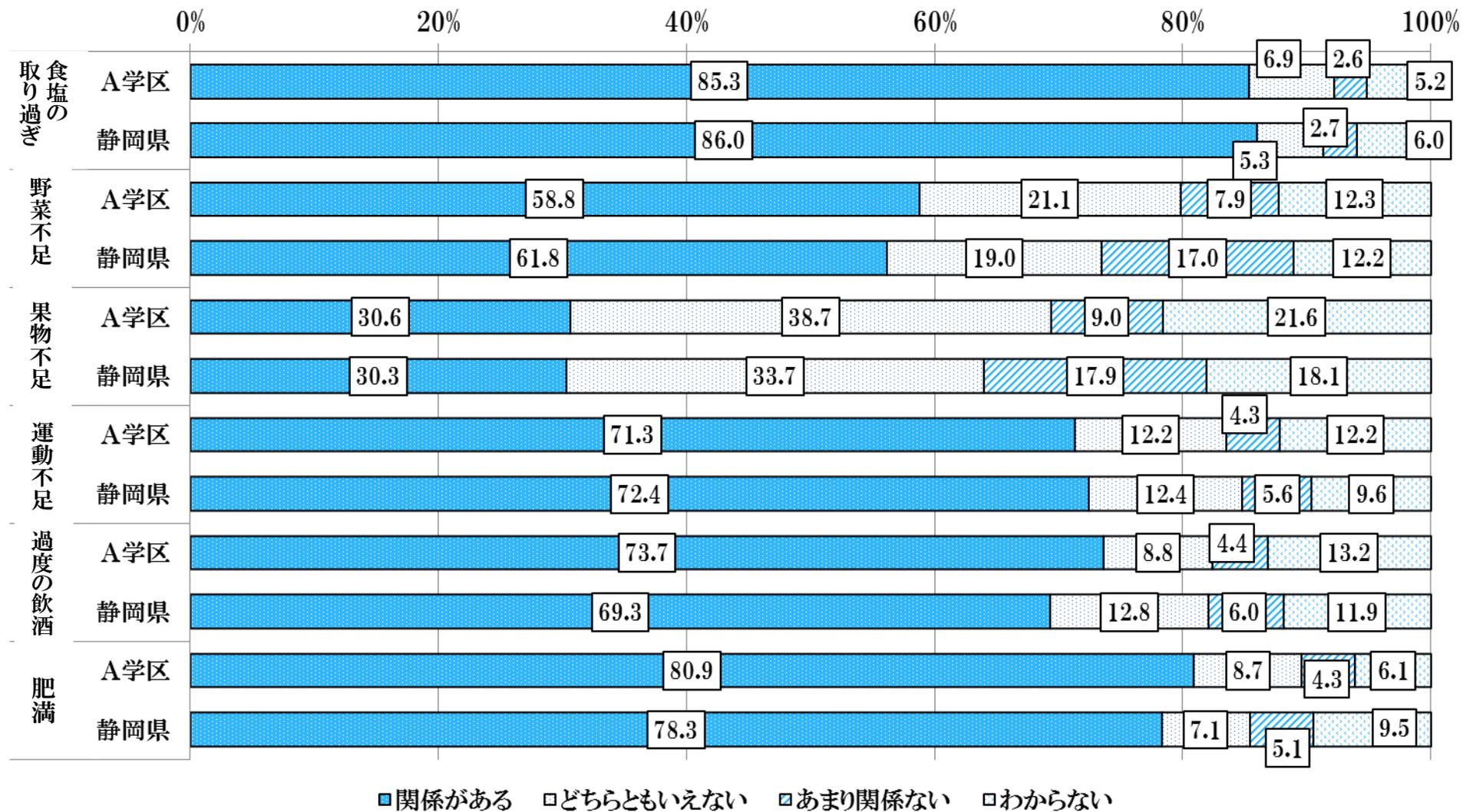
高血圧の人とはそうではない人に比べて脳卒中・心臓病・CKDになりやすくなると思いますか？

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■なりやすい □どちらともいえない ▨あまり関係ない ▩わからない

血圧と生活習慣の関連



考察 1

A学区は

< 血圧 >

- * 高血圧症で内服している人が多い
- * 高血圧と重症化のリスクについて関係性を知っている人が8割を超える
- * 塩分の取り過ぎに気をつけている内容が少ない
- * 塩分摂取状況は本人の主観によるものであり実際の状況は不明である

今後

塩分摂取量の実態を明らかにし、塩分摂取状況や塩分が体に与える影響を伝え、行動変容を起こす動機づけにしたい

考察 2

A学区は

<糖・脂質>

- * HbA1cの保健指導判定値以上が多い
- * LDLコレステロール値が高く、HDLコレステロール値が低い
- * 運動習慣が少ない
- * 転入者はA学区の食について「味が濃い」「甘い味を好む」と答えている

今後

栄養士と連携し、高血糖や脂質異常等になる生活習慣を明らかにするためのアンケート項目を追加し、残りのアンケート調査を継続していきたい。

まとめ

追加アンケートにて

* 塩分摂取量の実態を明らかにする

* 高血糖や脂質異常になる生活習慣を明らかにする

残りのアンケート調査を継続していく。

さらに、かかりつけ医にも、A学区住民の健康状態と生活習慣について意見を頂きながら、最終的な結果を導き出したい

おわり



ウメメ(梅ヶ島学区)



わさび仙人(大河内学区)